

## ○ 用語の解説

### あ～お

- ICカード・・・・・・・・・・ 情報の記憶媒体としてIC（集積回路）やLSI（大規模集積回路）を組み込んで、大きな記憶容量と読み出し、書き込み、消去などの機能を持たせたカード。
- IT・・・・・・・・・・・・ Information Technology の略。情報通信技術。情報通信分野を広くとらえて用いる語。コンピュータに関するハードウェアとソフトウェアや情報通信技術に関する設備、使用法なども含んでいる。
- アイデンティティ・・・・・・ 自分が自分であるという独自性、主体性。都市におけるアイデンティティとは、他の都市とは異なる都市の特性や個性のこと。
- アクセス・・・・・・・・・・ ①情報媒体や情報システムとの接触・接続を行うこと。  
②産業・住宅の立地等における交通の利便性、交通手段のこと。
- アミューズメント・・・・・・ 娯楽。気晴らし。楽しみ。
- アメニティ・・・・・・・・・・ 一般的に快適性の質や物事を表す概念で、場所、気候、環境などの快適さや景観、歴史的環境などを含め、人々の心をなごませる快適な環境をいう。
- インキュベート・・・・・・・・・・ 生まれたばかりのベンチャー企業が立ち上がるまでの間、必要な支援を提供し育成する取り組みのこと。
- インターネット・・・・・・・・・・ 世界中のあらゆる機関（大学、研究所、政府組織、企業、個人等）のコンピュータネットワークを相互接続した大規模なネットワーク。
- インフラ・・・・・・・・・・・・ インフラストラクチャーの略。道路、鉄道、港湾、上下水道、橋、公園、学校、病院、など産業基盤や生活基盤となる社会資本のこと。
- ウォーターフロント・・・・・・ 海、川、湖沼などの水際に近接する区域をいう。特に都市部の水辺地区の整備に関連して使用される言葉。
- 右岸・左岸・・・・・・・・・・ 河川の上流から下流に向かって右側の河岸を右岸といい、左側の河岸を左岸という。
- NPO・・・・・・・・・・・・ Non-Profit Organization（非営利組織）の略。営利を目的としない公益的な市民活動などを行う民間の組織、団体のこと。
- LRTシステム・・・・・・・・・・ LRTとは、Light Rail Transit の略。低床式車両の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システム。
- オープンカフェ・・・・・・・・・・ 道路や公園等の公的空間に面した部分を日差しや風などを取り込めるように外部に開放されたレストランや喫茶店を総称していう。  
日本では道路の一部を囲って使うなど占有してレストラン等のオープンカフェをもうけることは、道路機能と管理の面から、一時的な仮使用を除きできない。

## か〜こ

- 既存ストック・・・ これまで蓄積されてきた道路、公園、住宅など都市の基盤を支えている社会資本のこと。
- 協働・・・ 市民と行政がそれぞれの果たすべき役割を自覚し、相互に補完し、協力すること。
- 景観条例・・・ 景観づくりの理念や目標、具体的なまちづくりの誘導や市民の意見の反映などに関し、必要な手続きや方策等を制度的に定める条例をいう。都道府県単位又は市長村単位で、議会の議決を経て制定される。
- コインパーキング・・・ 硬貨を入れて使用する無人式駐車場。
- 高次都市機能・・・ 社会基盤や通信基盤が整い、中枢管理機能の集積が進み、広域交通、商業・業務、文化、観光・コンベンション機能等が高度化すること。
- 交通結節点・・・ 鉄道の乗継駅、道路のインターチェンジ、自動車から徒歩やそのほか交通機関に乗り換えるための停車・駐車施設、鉄道とバスなどの乗換えが行われる駅前広場のよう交通動線が集中的に結節する箇所。
- 交通バリアフリー・・・ 駅のエレベーター設置、周辺の歩道整備、床の低いバスや電車の充実など、高齢者や身体障害者等の公共交通機関を利用した移動を円滑化すること。
- 高度情報通信技術・・・ ビジネス、家庭、学校等のあらゆる分野で情報通信ネットワークを使って、その利便性を享受できる通信技術のこと。
- 高度地区・・・ 土地の利用増進を図るため、建築物の高さの最高限度または最低限度を定める地区のこと。
- 交流人口・・・ 定住人口に対比する考え方で、例えば、観光や通勤・通学などによる地域への入り込み人口のこと。
- 高齢社会・・・ 高齢化率（総人口に占める 65 歳以上人口の割合）が 14%以上の高い水準に達し、それが維持されている社会。また、高齢化率 20%以上を超高齢社会という。
- コーナー広場・・・ 交差点の隅切り部分や道路の曲線部のスペースを利用した小規模な広場のこと。
- コミュニティ・・・ 人々が共同体意識を持って生活を営む一定の地域。地域社会。
- コンセプト・・・ 考え。概念。
- コンパクト・・・ 密集した。ぎっしり詰まった。
- コンパクトシティ・・・ compact city 市街地の無秩序な拡大を図るのではなく、既存都市の中心部を有効に活用し、そこに多様な機能を集積させた都市の形態あるいはその構築を目指す考え方をいう。我が国においても、都市の郊外への拡張を見直し、中心市街地の機能の充実を図る動きが広まっている。  
基本的な特性として、土地の高度利用、複合化された機能、自動車依存が少ないこと（徒歩圏を基本としたまちづくり）などが挙げられる。
- コンベンション・・・ 会議、見本市、イベントなど特定の目的で多数の人々が集まること。また、その開催を支える会議場、飲食、サービス、宿泊機能などを総称してコンベンション機能と呼ぶ。

## さ〜そ

産学官の連携・・・ 技術開発や製品開発等において、産業界、大学、行政機関が連携すること。

CO<sub>2</sub>・・・ 二酸化炭素のこと。この排出量削減が地球環境問題の課題である。

シーニックバイウェイ・ 「風景のよい道路」の意。米国において、国家レベルで道路沿線及び近隣の優良な自然環境、歴史的な景観や遺跡、娯楽、レクリエーション施設等を発掘し、観光振興のために売り出すプログラムが 1989 年のシーニックバイウェイ法制定以来実施されており、この観光振興を目的とした道路指定及び整備をシーニックバイウェイプログラムと呼ぶ。国土交通省としても、北海道において、日本版シーニックバイウェイとして、美しい旅景色の演出による特色ある地域づくりに向け、沿道景観に優れたルートを登録、指定し、景観の保全や整備を図る制度づくりに取り組んでいる。

敷地整序型土地区画整理事業・・・ 一定の基盤整備がなされている既成市街地内の地域で、土地区画整理事業の換地手法を活用し、街区の再編や敷地の整理・統合を行い、民間活力等による遊休地や低未利用地等の有効利用を図ることを目的とした土地区画整理事業。

社会実験・・・ 道路交通問題の解決が期待される先進的な施策について、効果や影響の確認を行うため、場所と期間を限定して、地域の人々に試行的に施策を体験してもらいながら評価を行い、本格的に導入するか否かを判断するもの。

渋滞対策プログラム・・・ 国・県・市で役割を分担し、主要渋滞ポイント及び渋滞が著しい箇所の整備を行うもの。

集約型都市構造・・・ 戦後、都市は人口増加やモータリゼーションの進展等に伴い、郊外へ都市機能が拡散し、低密度な都市構造となったが、今後さらに進む少子高齢社会化に対応し、環境と共生した持続可能な都市づくりを進める上で、既存の都市機能の有効活用、過度に車に頼らない市街地の整備や公共交通の利便増進など、コンパクトに多様な都市機能が効率的に集約された都市構造。

少子高齢社会・・・ 人口構成に占める高齢者の割合が高く、子供の割合が低い社会。

ショッピングモール・・・ 商店街や繁華街につくられた歩行者専用の散歩道などの総称であり、買物公園、買物遊歩道ともいう。

街路樹、街路灯、花壇、案内板、ベンチなどのストリート・ファニチャーを配置するなど、歩行者の快適性の確保・向上を重視し、滞留する時間を延ばして商店街の活性化を図ることを目的とするものである。

ストリート・ファニチャー・street furniture 道路、主として歩道上に設置される様々な装置。ベンチ、電話ボックス、街路灯、水くみ、くず入れ、標識、プランターボックスなどがあげられる。路上の施設には地下鉄出入口、警察派出所、安全地帯、植樹帯等の施設も含まれる。

スプロール化・・・・・・・・市街地が無計画に郊外に拡大し、虫食い状の無秩序な市街地が形成されていくこと。

SOHO・・・・・・・・Small Office Home Office の略。企業に属さない個人企業家や自営業者等が情報通信ネットワークや情報通信機器を活用し、自宅や小規模な事務所で仕事をする独立自営型のワークスタイル。遠隔型のワークスタイルである「テレワーク」の一形態と考えられる。

## た〜と

大規模小売店舗立地法・・スーパーなど大型小売店を出店する際に、周りの環境との調和を図ることを目的としている。売り場面積や営業時間の制限はしないが、周辺的生活環境を守るため、売り場面積が 1,000 m<sup>2</sup>を超える店を出す場合、駐車場、荷さばき施設、廃棄物の保管場所などの計画書を出さなければならない。

タウンモビリティ・・障害のある人やお年寄りなど、移動が困難な人に電動カートや車椅子などを貸し出し、商店街を中心とした施設などを利用しやすくするシステム。

地球温暖化・・・・・・・・温室効果気体の人為的な排出により、大気中の温室効果気体の濃度が急激に増加し、温室効果が強まることによって地球の平均気温が上昇すること。

地方再生モデルプロジェクト・・地域における経済活動が低迷し、活力を失いつつある地方において、民間の発意を公とのパートナーシップにより後押しするなど、地域の経済活性化に寄与するプロジェクトを発掘・構築し、関係支援施策を緊急かつ総合的に実施することにより、地域経済の下支えを図ることを目的とした施策。

チャレンジショップ・・小売業への参入希望者に対して家賃面等で優遇することによって、事業展開を図りやすくした店舗。

超低床バス・・・・・・・・乗降口に階段がなく、直接床に乗降できる超低床のバス。

低公害車・・・・・・・・大気汚染などの要因となる自動車排気ガス中の二酸化炭素、窒素酸化物などを極力少なくした車のこと。電気自動車、天然ガス車、メタノール自動車、ハイブリッド車などの種類がある。

低公害低床バス・・・・・・・・アイドリングストップ、ハイブリッド、バイオディーゼルなど環境にやさしい機構を持ち、乗降口の高さを歩道と同じ高さまで下げることのできるだれもが乗降しやすいバスのこと。

低未利用地・・・・・・・・本来、建築物などが建てられその土地にふさわしい利用がなされるべき考えられる土地において、そのような利用がなされていない、例えば既成市街地にある空き地など利用密度の低い土地のこと。

TMO・・・・・・・・Town Management Organization の略。事業者等の地域を構成する様々な主体が参加し、まちの運営を横断的・総合的に調整し、中心市街地の活性化と維持に主体的に取り組む機関。

TMO構想・・・・・・・・中小小売商業高度事業構想。中心市街地活性化基本計画に位置づけら

- れた事業等のうち、実施主体が民間となるものについて、TMO (town management organization、タウンマネジメント機関) が作成するもの。
- テナントミックス・・・ 空き店舗等を利用して不足業種の導入による計画的な店舗の再配置を行い、商店街機能を高めること。
- 特別用途地区・・・・・・ 都市計画法の地域地区の1つで、用途地域を補完し、特別の目的から土地利用の増進、環境の保護等を図るため定めるもので、用途地域による制限のほか、条例により建物の用途などについて、地区の特性に応じた規制が行われる。
- 都市型観光・・・・・・ 従来型の名所旧跡等を巡る観光でなく、都市そのものが観光資源として捉えて、街なかでのショッピング、飲食、スポーツイベント、町並みや文化遺産など、都市の様々な魅力を体験することを総称した新しい概念、又はその活動。アーバンツーリズムと呼ぶこともある。
- 都市型産業・・・・・・ 中心市街地などに集積している人材、資金、情報などの都市機能やストックを経営資源として活用して立地し、多様かつ高度な需要・ニーズに対応して事業を営む産業 例えば、ファッション産業、福祉用具産業、情報通信関連産業、リサイクル産業など今後の発展が期待される新規分野の産業をいう。
- 都市景観・・・・・・ 建築物等による街並みの形成など造形的な面からのみの都市の景観を表すことだけではなく、その都市の歴史、文化を基盤とした生活の場としての個性的、総合的な表現として表す言葉であり、その都市の文化水準を表すもの。
- 都市景観ガイドプラン・ 市民・事業者・行政が協働でまちの個性を生かした都市景観形成を総合的かつ計画的に進めていくための鹿児島市の指針。
- 都市公園・・・・・・ 「都市公園法」に定義されるもので、地方公共団体が設置する都市計画施設である公園または緑地、都市計画区域内において地方公共団体が設置する公園または緑地のこと。その他、国が設置するものもある。
- 都市サイン・・・・・・ 都市の中の目印、表示、標識などをいう。道路標識や各種施設の案内標識などで文字の表記、色彩、デザインなどを統一し、わかりやすく快適な環境づくりを行う。
- トランジットモール・・・ 中心市街地の商店街などにおいて、自動車交通を排除した歩行者専用空間に路面電車やバリアフリーなどの公共交通機関のみを導入した街路のこと。

## な～の

- ニーズ・・・・・・ 必要性。要求。需要。
- ノーマライゼーション・ 障害者が障害のない者と同等に安全で快適な生活を送り、社会活動に自由に参加し、自立して生活することができる社会をめざすという理念。

## は～ほ

パブリックコメント手続・行政機関が施策を実施するにあたって、その趣旨、内容、その他必要な事項を公表し、それに対して出された意見や情報を検討して最終的な意思決定に向けて行う手続。

バリアフリー・・・・・・・・ 社会のなかに存在する身体的、精神的な障害（バリア）を取り除くこと。例えば、歩道の段差解消など。

パークアンドライド・・ 都心部などの道路混雑や駐車場不足に対処するため、混雑地区の外側に駐車場を設置し、そこで自動車から公共交通機関に乗り換えて目的地に向かう方法。

ハード、ソフト・・・・・・・・ ハードとは道路や建築物、設備など主に施設に関するもの。それに対し、ソフトとは、人、システム、制度など主に運用に関するもの。

ハンズフリーサービス・ 商店街で手ぶらでゆっくりと快適にショッピングができるよう、託児所や荷物一時預かり所の設置などを行うこと。

ヒートアイランド現象・ 郊外に比べて都市部が高温になり、夜になっても気温が下がらない現象。都市廃熱といわれる冷暖房などの人工的な放熱、ビルや舗装道路による太陽熱の蓄積、樹木不足のため水分蒸発による気温低下作用が弱いことなどが主な原因である。

フリーマーケット・・・・ 各家庭等でいらなくなったものを公園などに集まって、他人に販売すること。

プロムナード・・・・・・・・ promenade 歩行者の公共空間で、散歩、回遊することができる空間。遊歩廊ともいう。展示などのため建物の中にもうけられた廊下のことをいうこともある。

防犯灯・・・・・・・・・・・・ 夜間における犯罪の防止と市民の通行の安全を図るための照明灯。

ポケットパーク・・・・・・ わずかなスペースを利用して都市環境を改善しようとする小規模な公園で、都心部のビルの一角や密集した住宅市街地の中に設けられるもの。都市景観の向上や都市アメニティ（快適さ、心地よさ）の創出のための重要な要素となる。

ホスピタリティ・・・・・・・・ 来訪者などを親切に迎え、歓待すること。おもてなし。

ポテンシャル・・・・・・・・ 潜在能力。発揮されていない可能性のこと。

## ま～も

モニュメント・・・・・・・・ 記念性を持った構築物。記念碑、記念像など。

モータリゼーション・・ 自動車が生活のなかに深くはいること。

モール・・・・・・・・・・・・ mall 語源は「緑の多い樹陰のある散策路」であるが、近年は単なる通行のための道だけではなく、広場やベンチ・噴水などのストリート・ファニチャーを配して、憩い・遊び・集いなどの機能を付与したものを指す。

## ら～ろ

ランドマーク・・・・・・・・ その土地や場所の目印や象徴となっている建造物。歴史的建造物。

リニューアル・・・・・・・・ 新たにすること。更新、再生。

立体都市計画通路・・・ 都市施設の立体的な範囲を都市計画上、明確にし、都市施設を建築物と同一の土地の区域内に立体的に整備することで土地の有効・高度利用の促進を図る「立体都市計画」を活用した都市施設としての通路。

リーディング産業・・・ 戦略産業。主導産業。国や地域の経済成長の中核となる産業。

臨港地区・・・・・・・・・・ 港湾としての機能を十分発揮できるよう、また港湾背後地の保護育成を図るため定めた地区のこと。

レクリエーション・・・ 仕事や勉強の余暇に精神的・肉体的な新しい力を回復するために行うスポーツや芸術活動、娯楽や気晴らし、休養など。

ロードサイド型店舗・・・ 郊外の幹線道路沿いにある店舗。

ロゴマーク・・・・・・・・・・ トレードマーク、商品名、企業名のマークのこと。ロゴともいう。

## わ～ん

ワークショップ・・・・・・・・ 課題等の抽出と選択を通して、複数の市民との一定の合意形成を図る必要がある場合に、市民と行政及び市民同士の自由な論議により市民意見の方向性を見出すことを目的として開催する集まりのこと。

ワンステップバス・・・ 床を低くして乗降口の階段を1段にし、床面の地上面からの高さを55から65cm程度まで引き下げることにより、乗降口の段差を軽減したバス。

※ 出典は、「第四次鹿児島市総合計画」、「かごしま都市マスタープラン」、「鹿児島市観光未来戦略」、「国土交通省 用語解説」ほか。